

村政を問う 一般質問 ..... 11

基本計画を作るべきでは

インバウンド事業の実情と展開は

平成23年度予算編成は

東部農業集落排水施設の統合計画は

観光局説明会の検証と改善策は

住宅リフォーム助成制度創設を

はろば  
白馬  
議会だより  
96号

平成23年第1回定例会 ..... 1

議決結果 ..... 8

私の思い出 ..... 18

わたしのこころ ..... 19



塩の道祭りにて (飯田 神明宮) 5月4日

# 43億1800万円を可決

## 本会議での質疑

* 一般会計等予算の議案	6件
* 一般会計等補正予算の議案	6件
* 条例制定及び一部改正の議案	14件
* 条例改正の発議	1件
* その他	9件
* 一般質問	6件

● 福祉医療費給付条例の一部を改正

### 問

(篠崎久美子) 給付範囲の拡大により新たに対象となる人数と給付額はどれくらいと見込んでいますか。

### 住民福祉課長

療育手帳の所持者に、つきましては16人、精神障害者保健福祉手帳につきましては2人、が対象となり、予算は60万円を予定としています。

● 一般会計補正予算

### 問

(篠崎久美子) 図書館施設の改修工事の内容は、入口のドアを障がい者対応に改修します。

### 教育課長



議会のスキー場視察 厳しい現実 2月2日

# 平成23年度

# 一般会計予算

## 本会議での討論

●「白馬村議会基本条例」を遅くも平成24年度内に制定することを要望する

陳情

賛成討論(小林英雄) 議会には行政のチェック機能と共に

住民に開かれ、住民の意見を正確に反映し、政策を提言する議会運営が求められています。そのような議会を実現するために、北海道栗山町を最初にして「議会基本条例」を制定する地方議会が増えていきます。信濃毎日新聞社による県内77に市町村議長アンケートでは、基本条例を「制定しない」と回答したのは3市村(3・9%)に留まっています。大北管内では大町市は昨年9月に制定、池田町・松川村・小谷村はいずれも制定を検討となっています。

制定後の実効ある実施のためには、広く深い検討も必要です。白馬村議会には前回検討した「議会改革調査特別委

員会」報告の財産があります。陳情を採択し基本条例制定に向けて、速やかに学習・検討を開始すべきです。

私は陳情を採択すべきと考えますが、議会運営委員会の審査結果は「継続審査」とのことですので、閉会中にも委員会審査を行い、次回議会では採択することを求めます。

賛成討論(太谷正治) 議会基本条例は、議会の行動を自ら律するという意味で、有効であることは間違いありません。

村議会としても、その重要性は認識していて、条例がない現時点でも、住民懇談会として、各種団体等と積極的に懇談を行っています。

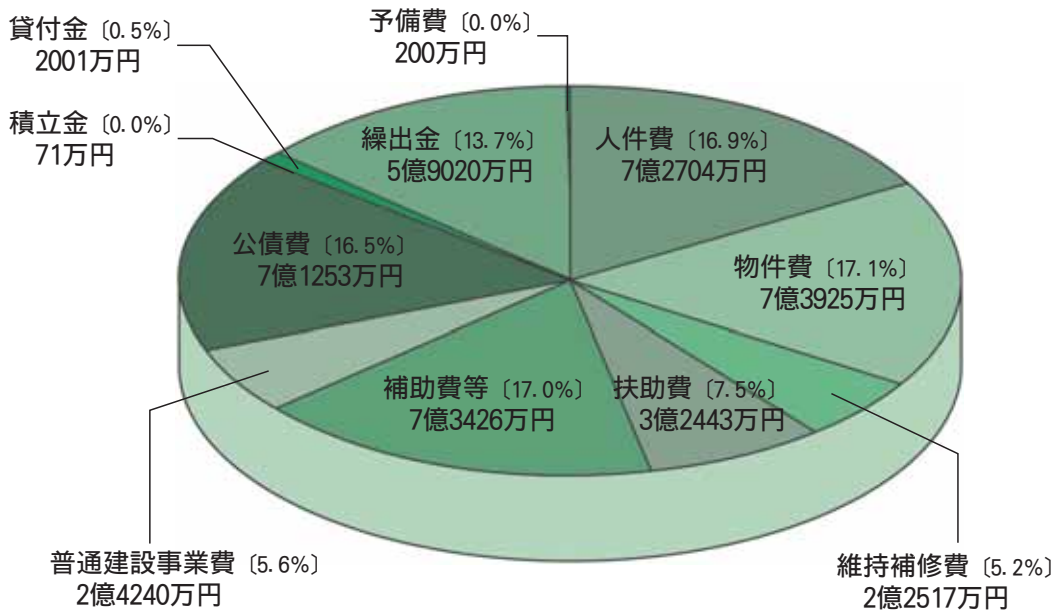
また、自治体の規模は遙かに違いますが、議会基本条例を制定している会津若松市議会を視察しています。この流れは止められないにしても、県内でも6地方議会、全国的にも170地方議会ほどしか制定しておらず、制定したとしても、現実と条例にうたっている中身との開きがあり、苦慮している自治体もあると聞いております。

## 一般会計

## 性質別歳出予算

歳出総額 43億1800万円

[千円単位四捨五入]



この陳情の趣旨は、理解できませんが、時間的に可能かどうか、など白馬村の実態にそぐわない内容もあるように見

受けられます。よって、より検討する事がよいと考え、継続審査とすることに賛成します。

このような審議がありました

予算特別委員会

福祉医療給付拡大  
2250万円

● 一般会計予算

歳入歳出それぞれ、43億1800万円、0・1%の増  
「住民の声・現場の声を反映」「徹底した行政改革」「歳入の確かな確保と新たな財源の創出」の3つの基本方針。

平成23年度の重点施策は生活環境の分野では、神城山麓線の完成と村道の改良や舗装ごみの減量化と効率的な処理への取り組み。地域保健福祉の分野では、保健予防への取り組みや福祉医療給付の拡大への取り組み。活動ある経済の分野では、観光と農林業との連携として、転作としてのソバの取り組みや、観光振興事業の推進が、それぞれ23年度の重点施策であります。肝心の歳入の面では、地方交

付税は、0・9%の伸び率で、13億3900万円が計上されています。

議会

報酬は減額となりました。議員年金制度の廃止が決定されました。

総務課

助成制度が最終年度を迎える、デマンドタクシーや、シャトルバス等の地域公共交通会議に2200万円、ユーテレ白馬の運営事業に1100万円、情報ネットワークの広域一括管理のシステムを構築するための負担金に300万円。消防費で、耐震診断では、5施設を計画していて、委託料は220万円。

問

地域公共交通会議の、支出と収入の負担金の関係は。

答

国からの補助金を地域公共交通会議で受けて、

戻している。

問

ユーテレ運営事業の電柱の添架使用料(てんがしよりょう)は毎年発生するの。

答

その電柱に添架しているうちは、毎年支払う。ユーテレの現在の加入者数は何件か。

答

1870件である。

税務課

歳入は、村税が13億6770万円、昨年より590万円の減。個人住民税の現年課税分が、2億3310万円で、939万円の減。法人村民税の現年課税分が、5386万円で、413万円の減。固定資産税の現年課税分が、8億8498万円で、2547万円の減。

地方税滞納整理機構の関係や、徴収体勢の強化で増は見込まれるが、弾力性の少ない固定資産税現年課税分の減

ど、大変厳しい数字となっている。

歳出は、徴収強化に重点を置き、賦課収納業務電算委託料が1320万円、公売手数料が99万円、不動産鑑定委託料が323万円、長野県地方

問

地方税滞納整理機構への委託の件数と基準は、20件を予定。長年において滞納している金額の大きさである。

答

賦課収納電算委託はどのような内容のものか。新しいシステムで、徴収関係のすべての履歴や収納状況が出てくる。

問

老人福祉施設措置費に2560万円、乳幼児医療給付費に2100万円、「こども手当」には1億7700万円。重度心身障害者医療給付費を、平成23年度では、対象範囲を

住民福祉課

拡大して、2250万円。成年後見制度にかかる費用、56万円を、権利擁護事業として、新規事業で計上。戸籍のコンピュータ化に、システムリース料が413万円、システム保守料に126万円。乗り合いタクシー事業には1140万円。子宮頸がん予防ワクチン、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンの接種の費用として2150万円。

問

成年後見制度の内容は、判断能力が不十分で、成年後見人が必要であるにもかかわらず、親族からの申し立てがない人を守るために、村長が申し立てをする制度である。

答

白馬山麓環境施設組合の清掃センター建設費の償還が終わったことにより、負担金が減り、合計で1300万円の減。

環境課

減。

広域ごみ処理施設の建設候補地が大町市となったことから、ごみの持ち込み方式から収集方式に切り替えるため、ごみ集積場設置の補助金の限度額を引き上げる予算を計上。1集積場につき、事業費の4分の3で上限は120万円。

### 建設水道課

村道維持補修工事に500万円、道路維持原材料に600万円、除雪費に1億8000万円、道路改良事業に1億円、下水道操出金に2億6000万円、合併浄化槽補助金に1390万円。

除雪費のうち、エンカル散布車の購入費用950万円、道路改良のうち、神城山麓線3400万円。

**問** 浄化槽の補助対象は何件。

32基。

**答**

### スポーツ課

スノーハープの木橋（もつきょう）の改修設計監理に6



ちびっこ消防隊 出初式分列行進にて 4月29日

**答**

2月末で7万9千人。前年比、1割以上の減。

### 教育課

58万円、工事に4050万円。ジャンプ競技場の改修に500万円、各種スキー大会開催に1400万円が計上。スノーハープの事業には、償還助成があり、辺地対策事業債をあてる。

**問** ジャンプ競技場のリフト利用者の数は。

新しい学習指導要領に対応するため、小学校費に、教科書や指導書の費用を計上。C RT検査や、スキー教室の費

用を増額。文化財保護費の、青鬼の保存事業の補助金には1160万円、神明社の防災事業には250万円。B&Gプール設計委託料に400万円。

環境安全浄化事業・小雪溪トイレの管理、グリーンパトロール管理事業に「ふるさと白馬村を応援する基金」から100万円。

**問** プール設計委託料の内

**問** 猟友会への委託料は。

**答** 水槽自体は現況を使用し、屋根・事務室・控室等を、設計で検討する。

**答** 銃の「タマ」などの消耗品の助成。猟友会の出動は、無償ボランティア。

**問** 戸別所得補償制度のコメ生産調整負担金500万円、中山間直接支払事業交付金670万円。奈良井整備事業135万円。「農地・水・保全」管理支払交付金事業交付金71万円。村単土地改良事業300万円。林道改良事業1040万円。森林整備事業570万円。有害鳥獣被害対策305万円。ナラ枯れ等森林病害虫防除190万円。国土調査事業2500万円。

**問** 地産地消で、小規模な畑作でも特産品として助成する方法。

### 観光農政課

シャトルバスに850万円、ソバの里づくり特産品開発促進事業「白馬ガレット」に商工会への負担金200万円。

**答** 国などが示す制度以上のもではなく、新しく仕組みを作るしかない。

シャトルバスに850万円、ソバの里づくり特産品開発促進事業「白馬ガレット」に商工会への負担金200万円。

**問** 地域営農センターを活用して欲しい。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**答** 地域営農センターを活用して欲しい。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**問** 個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**答** 「出荷」が条件である。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**問** 個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**答** 「出荷」が条件である。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**問** 個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**答** 「出荷」が条件である。

個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。「出荷」が条件である。

**問** 個別所得補償制度で、ソバは担い手だけか。

### 観光農政課 観光局

平成23年度観光局負担金は7679万円。

**問** 観光局の負担金と分担金の割合・時間外勤務手当等人件費は、

増額する金額は、すべて一般会計の税金がつかわれてい

**答** 事業費3300万円(会費分担金相当額)、

管理費1502万円、人件費2877万円。事業費の3300万円と会費分担金3300万円合わせて6600万円の中から、庄屋丸八の活用・維持管理や契約、新民宿宣言花三昧、スキー発祥100周年イベント、イベント開催と顧客確保、宣伝・販売促進等を行う。

観光立村である本村は、その時々の経済状況により、村で負担せざるをえないときもある。

**問** 村長の代表理事としての決意と、取り組む姿勢は。

**答** 局の予算を提案するにあたり、反省すべき点

は反省し、直すべき点は直し、しっかりとしたチェック体制をとり、定例会ごとに議会に報告することを義務付ける。清算方式を検討するなど、対処していく。

▽賛成多数により、原案どおり可決すべきものと、決定。

#### ●国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出それぞれ11億4881万1千円、5110万5千円の減。所得の減少を見込み、前年比1410万円の減。平成21年度、一人当たり医療費は21万7千円、県内で75位にランク。

▽委員全員の賛成により、原案どおり可決すべきものと、決定。

#### ●後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出それぞれ6525万3千円、前年比40万4千円の増。

▽委員全員の賛成により、原案どおり可決すべきものと、決定。

#### ●下水道事業特別会計予算

歳入歳出5億5770万6千円、前年比624万2千円の減。負担金の減。

▽委員全員の賛成により、原案どおり可決すべきものと、決定。

#### ●農業集落排水事業特別会計予算

歳入歳出それぞれ3599万2千円、前年比26万5千円の増。

▽委員全員の賛成により、原案どおり可決すべきものと、決定。

#### ●水道事業会計予算

水道事業収益2億9354万3千円、水道事業費用2億7703万6千円。資本的収

支額は、収入額673万円、支出額1億367万2千円、前年比、2305万8千円・

14・4%の減。企業償還元金の減少等によるもの。資本

的収入額が資本的支出額に対して不足する額、1億2997万2千円は、損益勘定留保

資金等で補填する。▽委員全員の賛成により、原案どおり可決すべきものと、決定。

### 議会運営委員会

#### 「白馬村議会基本条例」継続審査

●白馬村議会が「白馬村議会基本条例」を遅くも平成24年度内に制定することを要請する陳情

白馬村議会でも、基本条例を持つ会津若松市議会を視察しております。

地方議会で、条例を制定している、構成比が当村に同等に近い町村の基本条例を集めて、検討しているところがあります。

時間的拘束や地方自治法の改正要望等々、調査検討すべき内容もあり、継続審査とし

たい。

24年度には間に合わないが、一部採択の意見もありました。▽委員長を除く賛成多数により、継続審査とすべきものと決定。

### 総務社会委員会

#### 村福祉医療費給付範囲拡大等級制限廃止

●白馬村白馬町交流センター条例の制定

白馬町区からの土地、建物について村が寄付を受納したことにより、

公の施設として設置及びその管理に関する条例を制定するものです。

**問** 改築や修理の際の費用は誰が負担するか。

**答** 寄付の条件として維持管理費用は白馬町区が適正に行う。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村地域情報化施設基金条例の制定

白馬村地域情報化施設、ケーブルテレビ白馬の管理運営の適正化を図るため、白馬村地域情報化施設基金を設置するものです。

問

基金の金額は。

答

約450万円です。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村住民生活に光をそそぐ基金条例の制定

国の補正予算、住民生活に光をそそぐ交付金により、地方消費者行政、DV対策（家庭内暴力）、自殺予防等の弱者対策、自立支援等に対する取り組みの強化を図るための基金を設置し、事業を23年度から24年度まで行うものです。

問

相談業務を行うのか。

答

臨時職員を雇い、子どもものことも含めて相談業務を充実させたい。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別職の職員の給与に関する

る法律の一部改正に伴い、平成23年度の期末手当の6月及び12月の支給月数をそれぞれ1の月数に調整し、村長・副村長・教育長の報酬を、それぞれの任期まで継続して減額するものです。

報酬の額は、村長は条例制定額80万円を25%減の60万円



富山県朝日町議会との交流会 朝日町役場 2月23日

副村長は同じく65万8千円を12%減の57万9千円に、教育長は同じく58万7千円を12%減の51万6千円にするものです。

減額の率はどのように決めるのか。

特別職の報酬審議会を開いて決めていきます。

問

▽委員全員の賛成により、原案通り可決すべきものと決定。

●白馬村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例について

福祉医療費の給付範囲を拡大するために、療育手帳所持者（知的障がい者）及び精神障がい者保健福祉手帳所持者（精神障がい者）の等級制限を廃止するものです。障がいの程度B1以上と精神障がい者2級以上の所持者の制限を削除する改正です。

療育手帳は知的障がい者で、重い方からA1、A2、B1、B2とありB2の一番軽い人まで拡大するもの

障がいの等級区分について。

療育手帳は知的障がい者で、重い方からA1、A2、B1、B2とありB2の一番軽い人まで拡大するもの

です。また精神障がい者保健福祉手帳も3級以上にまで対象範囲を拡大するものです。

●白馬村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ、4351万円を追加とする。国の補正予算による「きめ細かな臨時交付金3170万2千円」と「住民生活に光をそそぐ交付金1713万4千円」の交付内示を受けて予算計上するものです。

総務費で、きめ細かな交付金を使い、社会体育施設改修事業に570万2千円の増額、ウイニングの修理やグリーンスポーツの遊具修理となっています。

同じく、きめ細かな交付金1100万円で、学校環境整備事業を行い、白馬南小、北小学校、白馬中学校の改修工事や、給食センター修繕、遊具の設置などです。

図書館費では、1076万7千円の増額で、住民生活に光をそそぐ交付金です。他に

図書館施設等充実事業費、学校図書・図書館図書の購入、机、イスの購入、図書館施設等改修事業では、村図書館の玄関のドアの修理を、同じく光をそそぐ交付金で行います。▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●平成22年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(概要)

歳入歳出それぞれ3094万6千円を減額する。

歳入では、前期高齢者交付金4055万2千円の増額、繰越金1959万4千円の増額、国庫負担金7136万9千円の減額、国庫補助金1581万9千円の減額、県負担金105万6千円の減額、県補助金828万7千円の減額です。

歳出では、後期高齢者支援金4494万6千円の減額、療養給付費負担金等返納金1400万円の増額です。

**問** 平成21年度の療養費は県内何番目か。

**答** 77市町村のうち、一人当たりの医療費は良い方から3番目です。

**問** 高額医療の状況について。

**答** 高額医療の場合は、もう方も大きいですが、抛り出金も大きくなる。22年度は状況によっては3千万円の基金を取り崩せざるを得ないという予算を組んだが、医療費も安定しているので基金に手をつけずに済みそうです。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●陳情第2号「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める陳情

地域経済活性化を目的とした「住宅リフォーム助成」を自治体の施策として取り組めば、緊急経済対策として大変有効だと考える。

**意見** 白馬村の経済を活性化させるための手段として、何とかこの制度の実現を考えていくべきである。

**意見** 建築の仕事がない中でこの制度が経済活性化

の起爆剤になればいいと思う。村の財政状況に合った制度にすべきであり、手続きは簡略にして誰でも気軽に相談に応じられるようにしてほしい。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定しました。

●陳情3号・4号「住宅リフォーム助成金制度」の創設に関する要望

委員より「みなし採択」の動議が出され、質疑、討論を省略し採決。▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

産業経済委員会

きこりの道再生事業に105万4千円追加

●村道路線の認定について

深空下河原橋から旧国道148号滝頭までの路線認定であります。▽委員全員の賛成

により、原案のとおり可決すべきものと決定。

●白馬村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4351万円を追加するものです。主な事項では、農業活性化緊急基盤整備事業で4カ所の水路改修に1100万円の追加。

用水路安全対策事業で、転落防止柵の設置で80万円の追加、森林整備事業で、180万5千円の追加。きこりの道再生事業で105万4千円の追加、道路維持費除雪事業で、3080万円の追加、きめ細かな道路整備事業で、1630万円の追加。道路新設改良費で2097万3千円の減額。災害復旧費では110万5千円の減額等です。

**問** 森林整備事業で、間伐促進の実施状況は。

**答** 国からの補助金が変わること、村としても減ることのないよう対応します。

**問** きこりの道再生事業の実施について利用状況や整備方法は。

**答** これからの利用に伐採等の必要がありません。

▽委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。

●白馬村下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ346万8千円を減額するものです。下水道費の一般管理費で372万8千円の減額。公共下水道建設費で26万円の追加です。▽委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。

●白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ40万1千円を追加するものです。繰越金を補正するものです。▽委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。





## ● 3月定例会 議決結果 ●

件 名	議決結果
北アルプス広域連合規約の変更	可決(賛成全員)
北アルプス広域連合ふるさと市町村圏基金の財産の一部処分	
工事変更請負契約の締結	
白馬村辺地対策総合整備計画の変更	
村道路線の廃止	
村道路線の認定	
字の区域の変更	
白馬村白馬町交流センター条例の制定	
白馬村地域情報化施設基金条例の制定	
白馬村住民生活に光をそそぐ基金条例の制定	
白馬村体育施設条例の制定	
白馬村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
白馬村特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例	
白馬村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例	
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	
特別会計条例の一部を改正する条例	
白馬村使用料条例の一部を改正する条例	
白馬村ウイング21条例の一部を改正する条例	
白馬村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例	
白馬村消防団条例の一部を改正する条例	
平成22年度白馬村一般会計補正予算(第5号)	
平成22年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	
平成22年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
平成22年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第4号)	
平成22年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	
平成23年度白馬村一般会計予算	
平成23年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決(賛成全員)
平成23年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算	
平成23年度白馬村下水道事業特別会計予算	
平成23年度白馬村農業集落排水事業特別会計予算	
平成23年度白馬村水道事業会計予算	
平成22年度白馬村一般会計補正予算(第6号)	
白馬村白馬町交流センターの指定管理者の指定	同意(賛成全員)
固定資産評価審査委員会委員の選任	
白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決(賛成全員)

## ● 陳情等文書 ●

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
陳情第1号	白馬村	白馬村議会が「白馬村議会基本条例」を遅くも平成24年度内に制定することを要望する陳情	議会運営	継続審査 (反対:篠崎)
陳情第2号	大町市	「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める陳情	総務社会	採択(全員賛成)
陳情第3号	白馬村	「住宅リホーム助成金制度」の創設に関する要望	総務社会	採択(全員賛成)
陳情第4号	白馬村	「住宅リフォーム助成金制度」の創設に関する要望	総務社会	採択(全員賛成)

# 災！！ 北部震災！！

3月11日（金）午後2時40分過ぎ、東日本に有史以来の大災害が発生いたしました。  
地震・津波に加え、追い打ちを掛けるように原発の放射能漏れが被害を大きくしました。

3月12日（土）長野県北部を震源とする震災があり、栄村に大きな被害をもたらしました。

3月24日（木）

災害ボランティアの皆さん（白馬村婦人会・民間有志）と災害地支援物資の受付を行い、28日に物資搬出を行いました。

3月28日（月）～30日（水）

県北部地震被災地支援スタッフ派遣しました。

3月31日（木）

長野県特別豪雪地帯市町村協議会の仲間として、白馬・小谷両議会各議員からの義援金を栄村議会議長に届けました。

90余名の住民は庁舎の廊下で、不便な避難生活を送っていました。



不通になった飯山線



宮城県仙台市若林地区

津波により流されてきたガレキが一面にひろがっている



栄村議会議長と懇談

# 東日本大震災 長野県

4月7・8日(木・金)

地元県議・村長・議長をはじめ役場職員を伴い、福島・宮城県へ被災のお見舞いに行ってきました。

宮城・福島県庁では、義援金と職員の作業着を、三春町では被災者約450名に支援物資を届け、現地にて温かいおやき・焼肉を提供し、激励してきました。

また、被災者の受け入れの申し入れを伝えましたが、現地では混乱が続いており手続きにはまだ、時間がかかるようです。

## 東日本大震災義援金

(4月13日送金実績) 日赤経由

6、234、462円

## 県北部地震義援金

(4月15日送金実績) 日赤経由

1、403、908円



被災者へ村長激励

三春町体育館にて

●白馬村として、社協を通じて村民の方々に、末長い義援金のお願いをしています。  
●被災されました皆様には、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。



温かいおやき・焼肉の提供 体育館玄関にて

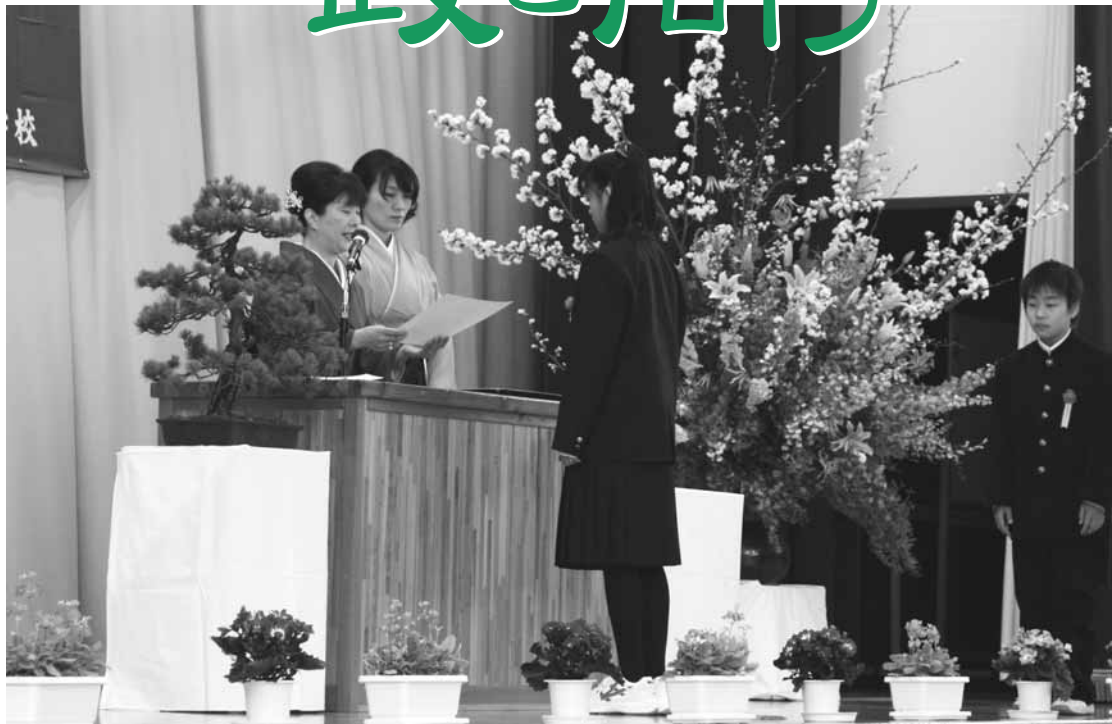


義援金・作業着の提供 福島県庁にて

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

# 村 政を問う

活力ある  
村づくりをめざして



白馬南小学校卒業式 3月19日



桜満開 飯田神明宮 5月4日

食育問題

問 基本計画を作るべきでは

答 策定に向けて準備中です



田中 榮一 議員

【食育基本計画 策定について】

**問** 国は平成27年度までに市町村における基本計画設置を100%求めているが、今から策定準備に入るべきでは。

**村長** 現在基本計画策定の準備に向けて議論をしています。

国の新しい計画概要に沿った柱として、家庭における食育の推進、学校・保育所における食育の推進、地域における食生活の改善のための取り組みの推進、食育推進運動の展開、生産者と消費者との交流

促進・環境と調和の取れた農林漁業の活性化、食文化継承のための活動への支援、などを掲げ早期作業に入れるよう検討します。

**問** 生徒の生活習慣病早期発見のため、中学生の血液検査を公費で行うべきでは。

**長教育** 現在中学校では健康診断で血液検査を公費で行っています。肥満度30%以上、マイナス20%以下の生徒について個別指導をしています。早期発見より幼児からの生活習慣の改善による予防の方が大切と考えられています。

子どもの肥満は、大部分が肥満成人になり、糖尿病・高血圧・心筋梗塞・脳梗塞などにかかりやすくなります。日常生活の基盤である家庭における食育の推進にとりくんでまいります。

【平成23年度 予算について】

**問** 村長公約の「観光の活性化」の予算はどのよう

**村長** 観光局事業として、冬季観光、山岳観光の推進、インバウンド事業を重点

に7700万円、一般会計では、遠見尾根の登山整備、商工会が行う白馬ガレットブランド化事業などに計上しました。スキー人口の減少により観光客は右肩下がり状況下にあります。観光立村として、ここを正念場として、観光局を中心に民の力も合わせ取り組んでいきます。

**問** 「トップセールスマン」村長として重要な仕事と考えるが。

**村長** 村長当選以来「私自身がまず営業マン」として掲げています。村への市民



完成が待たれる「神城山麓線」

ランナー、大学・実業団の陸上合宿、学習旅行などの誘致活動に積極的に取り組み役割を果たしたいと考えています。

【道路維持管理について】

**問** 神城山麓線が今年度完成の運びとなるが、飯

森陸橋北信号機から山麓線まで、村道に格上げすべきでは。

**村長** 農道の機能、白馬47スキー場のアクセス道路

など必要性の高い道路との認識はありますが、財政的問題もあり直ちに村道の格上げは考えていません。

観光問題

問 インバウンド事業の実情と展開は

答 宿泊者数は対前年150%の伸び



高橋 賢一 議員

【インバウンド事業招致の推進について】

**問** 観光局のインバウンド事業推進費とは。

**村長** 推進団体と一緒に、海外エージェントとのプロモーション活動のための渡航費、局職員の派遣に係る経費や、海外メディアや代理店との関わりを含めた企画販売の商談会参加などが主な事業費です。

**問** インバウンドリフト券の販売受託と実績は。

**村長** 村内索道事業者とリフト券取扱い契約を結ぶエージェント（村内8社、国

内2社、海外7社）とのチケット販売業務を受託しています。局の手数料は売上の1%です。

が、滞在日数が長いため、5〜6日券の購入が最も多く、取り扱い高は1億3千万円程



ゴンドラを待つ外国からのスキーヤー

になります。

**問** 中国の顧客市場開拓を推進するCプロジェクトの展開状況と方針は。

**村長** 今年度は、中国の来日観光客の動向、中国の

代理店やメディアへの積極的な働きかけと現地商談会参加など、情報収集機関として位置付けて活動しています。

**問** 局では、国内旅行の宿泊手数料を得ているが、インバウンド事業についても受益者の応能負担について検討すべきだが。

**村長** 限られた施設に特定するものではなく、お客様が増えることで村内の宿泊施設、飲食店を始め、多くの観光事業者の収益アップに繋がる効果を期待した事業であり、特定の受益者負担は考えていません。

【外国人の宿泊施設と納税について】

**問** 村内に居住する外国人所有の宿泊施設は。

**村長** 税務課が把握している外国人所有の宿泊業は、確認できた範囲では37施設で、

和田野が12軒、みそら野が9軒、飯田が8軒、その他の地区で8軒となっています。

**問** 固定資産税の納付や滞納について。

**村長** 固定資産税は、納付済み・滞納の人もいますが、今年度は差し押さえを実施した事例もあります。税務課の台帳では国籍管理をしていないので所有物件の抽出に時間がかかります。

**問** 所得申告と納税の現状は。

**村長** 所得の申告は、村だけの問題ではなく、税務署と協力して進めて参ります。外国人生活ガイドブックの英語版を作成し、納税に関する概要について紹介しています。

**問** 白馬村国民健康保険に加入している居住者は。

**村長** 国保加入は54世帯67人です。加入資格は、外国人登録をしている者で在留期間が1年以上認められていることが要件です。





下水問題

問 東部農業集落排水施設の統合計画は

答 統合によるメリットは大きい



篠崎 久美子 議員

【東部農業集落

排水施設について】

今年度の調査内容は、

問

公共下水道施設の処理能力、統合した場合の

村長

経済性などを主としました。調査検討結果は、

問

公共下水道施設処理能力には余裕があります。統合すれば年間800万円ほど経費節減と試算できます。

村長

東部施設は供用開始後15年で今後大規模改修が必要となりますので、接続したほうがメリットが大きいと判断しました。

問

今年度の事業内容と、目標年度は、

村長

施設廃止協議のための書類作成業務が主です。現時点では平成27年3月を目標にしたいが未定です。

【教育について】

過年度実施のNRT及びCRT学力検査結果と学力維持向上への取り組み

問

は、

対象教科の一部または大部分に全国平均以下と見られる学年結果もあります。来年度は、全実施検査を

長教育

公費で行う予定です。

学級の人数編制や教員配置などで村独自の取り組みは、

問

来年度学級編成は中学校全学年で30人規模学級となる見込みです。きめ細かい指導のため来年度も村費

長教育

で南、北小学校、中学校に教

員配置予定です。

【税の滞納について】

長野県地方税滞納整理機構への業務移管予定

問

と効果の見積もり、負担費用

は、移管予定は20件、内、固定資産税に関して徴収

村長

率は4%改善見込み、予定徴収税額は3800万円ほどです。村負担費用は約337万

円の予定です。

問

納税相談はどのように進めているか。

村長

休日や夜間も対応できる体制です。

問

移管された事案は自動的に処理対象となるのか。

村長

移管後、村からの聞き取りがあります。対象件数は常に20件となるよう移管依頼していきます。

【観光について】

来年度観光局への負担

金の内訳算出の基礎は、

総務管理費1502万

円、人件費2877万

円、事業費分3300万円。

管理費、人件費は村負担、事業費は社員分担金と同額負担

という考え方です。

職員構成は、

来年度は13名体制で前

年比2名減。アドバイ

ズ

ザーは通年をやめ必要時のみとします。

今後組織の見直しはあるか。

観光局の移転も視野に入れて検討します。

村長

広域観光圏構想が必要ではないか。

村長

松本安曇野エリアとの連携強化をし、越中にいかわ観光圏協議会参加を検討中です。



農業集落排水処理施設東部処理場（堀之内）



### 観光問題

## 問 観光局説明会の検証と改善策は

## 答 局組織検討委員会を設置



太田 修 議員

### 【観光施策について】

**問** 局説明会の検証と改善に伴う、局長人事、組織の見直しは。

**村長** 組織検討委員会を設けて、局長・職員、執行体制などを検討し、5月の社員総会にはかります。

**問** 観光事業費と住民サービスのバランスは。

**村長** 住民サービスの維持を考え、より効率的・効果的に観光振興に結びつくよう心がけます。

**問** 局と観光関係者や地区観光協会との一体感ある計画の取り組みは。



休業になった国民保養センター「岳の湯」

事業方針の策定や業務の運営に的確な助言や情報の共有を図り、連携を深めながら事業を進めます。

どの合宿誘致を図り、事業を重ね雇用創出に繋がります。岳の湯の利活用は。

**村長** 入浴部門の修繕費がかさむことから5月連休明けを目的に休業し、募集した意見などを参考に、いこいの杜検討委員会で進めます。

**問** 耕作放棄地の活用で、観光や食育対策は。

**村長** 営農支援センターを通じ、耕作放棄地の防止に努めると共に、野菜や花などの作付けを伸ばし、観光や食育につなげます。

### 【重点施策と】

予算概要について

**問** 平成23年度重点施策と予算概要、財源確保は。

**村長** 新たな財源確保は困難であり、公債費の減少による投資的経費や福祉生活関連経費の充実を図ります。予算編成は、生活環境面で村道やごみ集積場、福祉社会面で医療費や予防接種など、経済施策では「そばの里づくり」を進めます。

**問** 地方滞納整理機構へ委託件数と金額、除外の徴収方法は。

**村長** 委託は20件で合計約4億円です。除外分は徴収システムの強化を図ります。今後の財政見込みは。

### 問

**村長** オリンピック競技施設やインフラ整備などに伴う、公債費負担が平成10年度の15億円から7億円まで減少しました。しかし、村税収入も平成10年度の21億円から14億円台まで減少しており、今後

### 【学校教育について】

**問** いじめの有無と防止策は。

**長教育** メールによるトラブルや上級生からの暴行などがあります。いじめ対策委員会やケース会議、支援会議を開催し、児童の状況把握、保護者への対応と今後の取り組みについて検討しています。

**問** 遠距離通学児童のバス運行計画は。

**長教育** 遠距離通学補助事業と比較研究します。

### 村長

### 問

現有観光施設の利活用での誘客と雇用策は。管理担当課を越えて取り組み、実業団・大学な

経済問題

問 住宅リフォーム助成制度創設を  
答 実施を前提に前向きに検討する



小林 英雄 議員

【住宅リフォーム助成制度】

問 いま全国各地で、地域経済活性化のための

「住宅リフォーム助成制度」が注目され、実施自治体数は180を超え、その経済効果は、愛知県蒲郡市では17倍以上にもなっている。県下でも既に9市15町村の24自治体で実施または実施が予定されている。村でも、緊急経済対策としての住宅リフォーム助成制度の創設は。

村長

新聞報道によりますと、住宅リフォームへの補助事業を全国で200以上の自治体が実施し、今後さらに

増えることが予想されています。

これら補助事業は、住宅産業の技術向上を主眼に置く補助制度とは異なり、高度な要件を設けず地域の業者にも工事が行き渡るよう対象の幅を広げ、最低10〜20万円以上の工事費の10〜30%を対象に上限金額を5万円から30万円として補助する等、各自治体が独自の取組みを行っているのが特徴です。住宅リフォームについては業種がある程度限られるといった問題もある中で、広く緊急経済対策としての効果が得られるような施策とすることも必要と考えており、今後の状況や動向を見極めながら、実施を前提に前向きに検討したいと考えております。

【観光局問題】

問 昨年の社員総会以後、観光局の諸問題が村民

の大きな関心を集めている。

村民に対する説明責任を果たす考えは。また、社員からの署名に基づく臨時総会開催の求めに応じなかったのはなぜか。

村長

昨年11月末に、社員から臨時総会開催の請求がありました。請求で社員総会の目的とする事項が、一般社団法人や当法人の定款が定める決議事項に該当しませんので、本件請求には応じることができない旨回答しました。本年2月1日に事業説明会を開催して皆さんからの質問を中心にお答えし、村民の理解を得られたと思っております。4月に発行する「観光局だより」でも報告することとしていきます。

問

説明会で村民の理解を得られたとのことだが、疑問点が明らかになったとは思われない。疑問点が解消さ

れるには、時間が不足だった。村民に対して、ていねいに分かりやすく説明する考えを示してほしい。

村長

説明する機会をつくっていきたいと思います。



リフォーム中の建物

# 私の思い出



内山 伊藤 馨

なり、一元のお客さんの帰って行くのは、翌日になってからだった。

それから、結婚の形態もこの数十年の間に全く変わってしまった。以前は、恋愛結婚は見にくものとされ、例外結婚として物笑いの種となるほどだった。ところが、一昨年の統計では、今の見合い結婚は三、パーセントと伝えられている。当時、村の素

変われば変わったものだ。ついこの頃といっても五十数年前までは、大町以北は、雪の降る十二月から四月半ばまでは、鉄道だけで道路は全く開かず、車は通らなかつたものだった。今のようブルドーズも無く、雪消え間近になつてから、佐野坂の道を幾日もかかってスコップでの掘割を人の力で行い、ようやく車が通るようになったものだった。

次に結婚も変わったものだ。今では結婚式を自家で行う者は、恐らく一軒もない。以前は婚家へ嫁さんが着くのは、日の暮れた夜に決まっていた。それから、式が行われ披露宴が夜中じゅう続いて夜更けに

封家の親爺さんが「こんな時代はえらい長くは続くものではない。家の縁を組み上げるのは今のうちだ」と真剣に言われたことがあった。すべての動物でさえ好いた者同志一緒になっている。萬物の霊長たる人間同志の恋愛結婚は決まったものだ。次に、断片的な

事ばかりで恐縮だが、家の作りも天下の観光地となつて来た白馬は昔とすっかり変わってしまった。それ前、私の子供のころはどこの家も全部が茅葺き屋根で家の真ん中には囲炉裏があつたものだ。今となつては、白馬村三千数百軒のうちで、茅葺きの家は何軒あるだろうか。恐らく十数軒ほどとなつてしまつている。田舎の良さはこれにあるが、なんとも淋しいことだ。大正生まれの者には、なんとも住みにくい世の中だ。



96号の表紙を飾つた花嫁花婿

## 追跡レポート

こないだ聞いたことあり  
どうなつただやあり

(平成22年6月) 定例会一般質問

### 問

子宮頸がんワクチン接種は高額な個人負担となります。接種費用への公費補助の考えは。

### 答

取り組みを始めている自治体を参考にして、積極的に取り入れて検討したい。

### 問

検討するのはいつ頃か。

### 答

できるだけ速やかに。来年度の予算編成の検討材料として。

### その後

平成23年2月から実施しています。平成23年度は当初から予算に費用が計上されています。国庫補助と村費が半分ずつ。個人負担はありません。

# 夢、私たちに。 わたしのひとこと



## 旅立ち

新田 松澤 毅

最初に、このたびの東日本大震災及び北部地震で被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げると共に、一日も早い皆様のご復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、我が家もこの春より2人の子供たちが、新たな目標を持って旅立ちました。長男は京都へ、そして次男は北海道へ、共に種目は違いますが、この白馬の地でスキーを続け、各自自分でその先の選択をしました。本当に各学校の先生をはじめ、各コーチの方々には大変お世話になりました。どこに行ったとしても、この白馬で育った事に誇りを持ち前向きに明るく生きてほしいものです。感謝の気持ちと新たな出会いを大切に絶対に諦めない強い意志を持って挑戦し続けることを期待します。スキーをはじめとする白馬を取り巻く環境は時代の流れと共に以前と比べ変わりました。厳しい状況ではありますが、伝統を守りつつも前を向いて立ち止まることなく進んでもらいたいものです。



## 大震災に思う

みそら野 熊捕保男

東京から白馬に移住して早くも25年が経ち、この間、大きな病気もせず、白馬の四季を楽しみ、元気に過して来ました。

この度の、東北関東大震災で、多数の死者、行方不明の方が犠牲になり、家族もバラバラになり、大変な生活をしなければならぬなど、心痛む思いです。

これに関連して、みそら野区の方々は、ほとんど、他の都道府県から移り住んで来た人達で、白馬村の文化、行事等に歴史が浅くまた、コミュニケーションも充分とはいえません、高齢者となれば、なおさらです。

自分達の非常時連絡先を、近所の人に教えておく事の大切さを感じました。

福島原子力発電所の事故では、目に見えない恐怖があり、今迄不自由なく、電気、水は、あってあたりまえの生活を見なおす時期なのかも知れません。



## 白馬ロータリークラブと 高校生交換留学制度について

飯森 宮尾英明

東日本・長野県北部大震災、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様へお見舞いを申し上げます。

白馬ロータリークラブは、世界各地のこのような災害などへの援助等の活動や、身近な地元の高校生を対象とした青少年交換留学制度の活動を行っており、白馬高校の協力の下、8月から白馬高校生2名をアメリカとドイツへ送り出す予定です。またドイツの学生が白馬村へ交換留学生としてまいります。

この活動は、単に語学を学びに行くためではなく、ホームステイを経験し、異文化を体験し、自分の肌でその違いを感じることで、自国(特に白馬・小谷村)の文化や歴史を紹介し知ってもらうという重要な活動であります。今年は、ドイツの若者がこの白馬に交換留学生として来日されます。ホームステイ先(期間は2~4ヶ月)として協力できる方を募集しております。

### 【問合せ先】

白馬ロータリークラブ 72-4070  
白馬高校 72-2034  
白馬ロータリークラブ 宮尾 英明

## 編集後記

謹んで東日本大震災及び、県北部地震災害の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震・津波被害、福島原発事故と続き、被災地の復興には時間と莫大な資金、何よりも地元の人々の苦勞・苦痛を伴うことでしょう。

白馬でも、大会・各行事がキャンセルになりスキー客が激減、観光産業に大きな被害をこうむっています。

皆さんの力を結集してこの苦しい大変な難局を乗り越えられるよう頑張らしましょう。

がんばろう！日本  
がんばろう！白馬

大谷 正治



### 議会調査編集特別委員会 (平成23年5月6日現在)

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	太田 伸子
委員	横田 孝穂
委員	太田 修
委員	小林 英雄
委員	太谷 正治